

暗唱のすすめ へ古文編①く

竹取物語



今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。

野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひ

けり。名をば、さぬきの造となむいひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。

あやしがりて寄りて見るに、筒の中光りたり。

それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしう

てあたり。